

第2期都城市子ども・子育て支援事業計画 令和6年度評価報告

第2期都城市子ども・子育て支援事業計画について

1 計画の概要

都城市子ども・子育て支援事業計画は全ての子ども・子育て家庭を対象として、本市が進める教育・保育・子育て支援施策を計画的に実施するため策定された計画です。この計画は令和2年度を初年度とし、令和6年度までの4年間を実施期間としていました。

(国)子ども・子育て支援法
(国)次世代育成支援対策推進法
(国)新・放課後子ども総合プラン



子ども・子育て支援事業計画

2 施策の体系

基本理念	すくすく笑顔の子育ち いきいき笑顔で子育て みんなで支え合う みやこのじょう
基本目標	・全ての子どもが健やかに育ち、豊かな人間性と生きる力を育むことができる保育・教育環境の整備 ・地域ぐるみの子育て支援の推進 ・結婚、妊娠・出産、育児への切れ目のない支援の充実

3 評価の指標

(1) 幼児期の教育・保育の量の見込み及び確保方策の指標

保育所・幼稚園・認定こども園等で提供している教育・保育サービスの供給量等

(2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策の指標

こども・子育て支援法第59条に基づく地域子ども・子育て支援事業の供給量

(3) 子ども・子育て支援事業の実施状況の指標

本市独自に策定したライフステージ別の子ども・子育て支援事業についての実施状況、進捗状況、財源確保状況等

4 施策の評価方法

- ・教育・保育の量の見込みと実績を除き、次の考え方で5段階評価を行った。
- ・目標値に対する実績値で単純に評価できるものはその結果により評価。
- ・量の見込み、確保方策、実績から総合的に評価すべきものは、総合的に評価。

評価	A	B	C	D	E
	非常に効果的	効果的	概ね効果的	効果的でない	評価不可

(1) 幼児期の教育・保育の量の見込み及び確保方策の指標

▶ 幼児期の教育・保育の量の見込みと実績

区分		第2期計画値※		R6確保実績値※			R6利用実績値※ (R7.3.1時点)		
		量の見込み (需要量)①	確保方策 (供給量)②	確保方策 (供給量)③	計画との差④ (③－②)	需要量との差⑤ (③－①)	利用児童数 ⑥	空き待ち 児童数 ⑦	⑧ (⑥＋⑦)
1号認定 2号認定	1号認定(満3歳以上で 教育を希望する子ども)	1,497	1,538	1,405	-133	-92	1,418	0	1,418
	2号認定(満3歳以上で 保育を希望する子ども)	2,733	2,819	2,770	-49	37	2,760	1	2,761
	小計	4,230	4,357	4,175	-182	-55	4,178	1	4,179
3号認定	0歳児で保育を必要 とする子ども	854	667	668	1	-186	742	28	770
	1、2歳児で保育を必要 とする子ども	1,651	2,099	2,049	-50	398	2,246	2	2,248
	小計	2,505	2,766	2,717	-49	212	2,988	30	3,018
	合計	6,735	7,123	6,892	-231	157	7,166	31	7,197
			a	b					c

※計画値(需要量・供給量)は市が計画段階で見込んだ量の見込みと利用定員、確保実績値は利用定員、利用実績値は実際の利用児童のこと

○ 幼児期の教育・保育の量の実績と評価

1号認定	確保方策	計画値a1,538人>確保実績値b1,405人<利用実績値c1,418人
	実績	利用定員の確保が計画値を下回っており、空き待ちを含めた実利用児童数まで利用定員を確保できていない。
	評価	需要を満たす供給量を確保できていないため、定員の増や、実利用人数に即した利用定員の適正化について協力を依頼していく。
2号認定	確保方策	計画値a2,819人>確保実績値b2,770人>利用実績値c2,761人
	実績	確保実績値が計画値を下回った一方で、空き待ちを含めた実利用児童数まで定員を確保できた。
	評価	定員数を下回るニーズ量であり、概ね実利用児童数に近い供給量を確保できている。今後も、実利用人数に即した利用定員の適正化を目指す。
3号認定	確保方策	計画値a2,766人>確保実績値b2,717人<利用実績値c3,018人
	実績	利用定員の確保が計画値を下回っており、空き待ちを含めた実利用児童数まで利用定員を確保できていない。
	評価	本市の独自施策である第1子からの保育料完全無料化と移住応援給付金の相乗効果により、実利用児童数は計画値及び確保実績値を大きく上回り、弾力的な受け入れを依頼したものの、空き待ち児童が増加傾向にある。 保育料無料化等の影響により需要が急激に増大している中で、需要を満たす供給量を確保できていないため、定員の増や、実利用人数に即した利用定員の適正化について協力を依頼していく。

(2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策の指標

▶ 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
1	利用者支援に関する事業(利用者支援事業)	○こども又は保護者の身近な場所で、教育・保育・保健その他子育て支援の情報提供や、必要に応じ相談・助言、関係機関との連絡調整を行う事業	2か所	2か所	2か所	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
			○引き続き、子育て世代活動支援センター(ぶれぴか)及び保健センターにおいて利用者支援業務を実施します。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
2	時間外保育事業(延長保育事業)	○保育認定を受けた児童が、通常の利用時間帯以外の時間に、保育所、認定こども園等で引き続き保育を実施する事業	1,175人	6,366人	1,131人	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○十分な量が確保されており、実績(補助分)が下回りました。		○市補助事業によらず、多くの保育所、認定こども園で延長保育事業が実施されています。引き続き、市の補助要件に該当する園に対しては補助を行い、実施体制を確保します。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
3	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	○保護者が就労等で昼間家庭にいない就学児童に、授業終了後等適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全育成を図る事業	2,470 人	2,484 人	2,575 人	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○全体量は確保されています。一方で、地域によっては不足が生じており、待機児童が発生している地域があります。		○実績が量の見込み及び確保方策を大きく上回っていることから、引き続きニーズの分析と計画に基づく拡充・整備を図ります。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
4	子育て短期支援事業(ショートステイ)	○保護者の疾病等により家庭で未就学児を養育することが一時的に困難になった場合等に、一定期間養育・保護を行う事業	100人日	1,095人日	313 人日	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○利用者の増により、実績が量の見込みを上回りました。確保方策を下回っているものの、利用希望が週休日に集中し施設が受け入れできないこともあります。		○児童養護施設・乳児院への委託により、ニーズに対応できる体制が整えられています。引き続き、この体制を維持し、定員数確保と施設との連携強化を図ります。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価	
5	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)	○生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、育児相談・子育て支援情報の提供、養育環境の把握、必要なサービスの検討、連絡調整等を行う事業	1,098 件	母子保健推進員、こども家庭課職員等の訪問により実施	・訪問延べ 758 件 ・電話及び 伝言表延べ 429 件	B	
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策				
	○訪問を希望されないケースには、電話等に対応しています。 ○訪問件数実績は見込みを大きく下回りましたが、電話及び伝言表での対応を含めると1,187 件となり見込みを上回っています。		○全戸訪問事業は、子育て支援の入り口となる訪問であり、面接できなかった家庭へは、母子保健推進員と行政とが連携し、フォローを強化します。				

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
6	養育支援訪問事業	○保護者の養育に対する支援が特に必要と認められる家庭を訪問し、育児不安の解消や養育環境の改善等を行うための相談・支援を行う事業	養育支援延べ90件	都城市要保護児童対策地域協議会を中心に、個別対応等で実施	養育支援延べ69件	B
			要保護児童等延べ210件		要保護児童等延べ188件	
	確保方策と実績に差がある場合の理由			今後の対応策		
	○養育に対する支援が必要と思われる家庭の見込み数の予測が難しく、実績が見込みを大きく下回りましたが、訪問による個別対応ができています。		○すべての養育環境が不安な家庭について、担当課を中心に協議会との連携を強化し、引き続き、個別案件の把握、情報共有、支援に努めます。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
7	地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)	○主に保育所等に通っていない乳幼児とその親子を対象に、相互交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供等を行う事業	77,516人回	6か所	95,889人回 5か所	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○すべての支援センターの利用者が広報活動による認知度向上等により、利用者数の実績が量の見込みを大幅に上回りました。 ○支援センターの新規開設については、現時点では5か所の支援センターでニーズを満たしているため、今後の開設については、引き続きニーズの把握に努めて参ります。		○社会福祉法人・NPO法人への委託により、ニーズに対応できる体制が整えられています。引き続き、この体制を維持し、乳幼児とその保護者の居場所を提供してまいります。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
8 1	一時預かり事業(幼稚園在園児対応型)	○幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児を対象に、教育時間の前後又は長期休業日等に、通園する園において一時的に保育を実施する事業	182,097人	245,735人	198,647人	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○市外在住者を含めると、実績が量の見込みを大幅に上回っていますが、確保方策のとおり必要な量が確保されており、サービス供給ができています。		○1号認定(3歳以上の教育希望認定)の保護者の就業形態等に配慮し、必要量を確保します。			

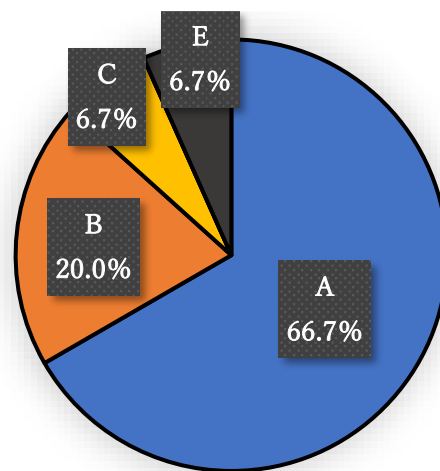
No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
8 2	一時預かり事業(在園児対応型を除く)	○家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、保育所、幼稚園、認定こども園やその他の場所において、一時的に預かる事業(No.8-1 の対象児を除く)	6,897 人	8,820人	3,444 人	A
	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)(未就学児のみ)	○児童の預かり等の援助を受けたい者と、援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業(病児・緊急対応強化事業分を除く)		1,520人	962 人	A
	子育て短期支援事業(トワイライトステイ)	○保護者の疾病等により家庭で児童を養育することが一時的に困難となった場合等に、一定期間養育・保護を行う事業		20人	25 人	B
	計		6,897 人	10,360 人	4,431 人	
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
○一時預り各事業の利用実績はほぼ量の見込みどおりとなりました。確保方策ではこれを上回る量を確保できているため、十分に実施出来ています。○一時預り事業については、市補助を受けていない園の実績が含まれていませんが、十分に実施出来ています。 ○子育て援助活動支援事業(未就学児の預かり(病児・緊急対応強化事業を除く))は、実績が確保方策を下回っており、十分に実施できています。 ○令和5年度から子育て短期支援事業(トワイライトステイ)を開始し、令和6年度の利用実績は確保方策を上回り、利用ニーズが高まっていると考えられます。			○一時預り事業等については、地域・地区ごとに利用ニーズがどのくらいあるか精査します。 ○子育て援助活動支援事業については、今後の需要増が見込まれることから、援助会員の確保に努めながら引き続き実施します。 ○トワイライトステイについては、利用ニーズに応えられる体制を維持していきます。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
9	病児保育事業	○保育を必要とする乳幼児又は保護者の労働等により保育を受けることが困難となった児童であって、疾病にかかっている者について、保育所、病院等で保育を行う事業	1,254人	3,990人	1,192人 (市内在住者)	C
	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)	○児童の預かり等の援助を受けたい者と、援助を行いたい者との相互援助活動のうち、病児・緊急対応強化事業分		10人	0人	E
	計		1,254人	4,000人	1,192人	
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○病児保育事業の実績には、三股町の施設(とっこのもり、畠中こども病児院)を利用した都城市民の数を含みます。 ○利用実績は量の見込みを下回りましたが、感染症の流行等により、時期によって利用状況が異なります。 ○子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業分)においては、コロナ禍以降、援助会員側の罹患防止対策の視点から病児預かりサービスを中止しており、実績はありませんでした。		○病児保育利用のニーズについては、感染症の流行等により、時期によっては利用できない状況も発生しているため、利用状況等の分析を進め、十分な受け入れ体制を構築します。 ○子育て援助活動支援事業については、感染症などの流行状況を見極め、医師の意見を聴くなどしながら、再開に向けて受け入れ基準や実施体制整備を進めます。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
10	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)(就学児の預かりのみ)	○子育てに関して援助を受けたい利用会員の依頼により、援助会員が支援する相互援助活動(就学児の預かり)	706人	706人	387人	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○子育て援助活動支援事業(就学児の預かり(病児・緊急対応強化事業を除く))は実績が確保方策を下回っており、十分に実施できています。		○子育て援助活動支援事業については、今後の需要増が見込まれることから、援助会員の確保に努めながら引き続き実施します。			

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R6 年度)	確保方策 (R6 年度)	実績 (R6 年度)	評価
11	妊婦に対する健康診査	○妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる体制を確保するための事業	12,932人	宮崎県内の産婦人科等で個別委託方式により実施	13,349人	A
	確保方策と実績に差がある場合の理由		今後の対応策			
	○母子健康手帳交付時に、14回分の健康診査券を交付し、県内の産婦人科等で受診する際、国が定めた検診項目の費用を助成しています。 ○実績が量の見込みを上回っていますが、十分に実施できています。 ○令和5年度から出産予定日を超えた妊婦へ妊婦健康診査費の助成と妊婦歯科健康診査費用の助成を開始しました。		○より支援の必要な妊婦に対応するため、産婦人科等との連絡会を開催するなど、引き続き妊婦の健康の保持と増進を図ります。			

評価内容	項目数	構成比
A: 非常に効果的	10	66.7%
B: 効果的	3	20.0%
C: 概ね効果的	1	6.7%
D: 効果的でない	0	0.0%
E: 評価不可	1	6.7%
合計	15	100%



(3) 子ども・子育て支援事業の実施状況の指標

➤結婚、妊娠・出産、育児への切れ目のない支援の充実

■ライフステージ共通施策

○子育てに関する総合的な相談体制・情報提供の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
「都城市は子育てしやすい、または子育てにやさしいまちだと思いますか」の質問に「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の割合	39% (R元年度)	45% (R6年度)	66% (R6年度)	A
子育て応援総合サイト「はぴみやこんじょ」ページ閲覧数	80,937 件 (H30年度)	200,000 件 (R6年度)	220,415 件 (R6年度)	A

■若者世代

○若者の就労支援

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
新規立地企業件数	7件 (H30年度)	累計 50 件 (R6年度)	累計 86 件 (R6年度)	A
都城公共職業安定所管内における職業紹介の就職率(常用)	47.00% (H30年度)	47.00% (R6年度)	40.64% (R6年度)	C

○出会いの場の提供

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
各種団体と連携した婚活イベントに参加した人のうち、カップルになった人の割合	24% (H30年度)	30% (R6年度)	51% (R6年度)	A
婚活情報発信システムへの登録者数	累計 201 人 (H30年度)	累計 250 人 (R6年度)	累計 1,791 人 (R6年度)	A
婚活応援企業等への登録企業数	累計 33 社 (H30年度)	累計 50 社 (R6年度)	累計 54 社 (R6年度)	A

・婚活情報発信システムへの登録者数について、登録者数が大幅に増加した要因は、R4年度に婚活支援情報発信専用 LINE を新たに開設したためである。

■妊娠・出産期

○妊娠・出産に関する相談体制・情報提供の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
母子健康情報サービスの利用者数	累計 224 人 (H30年度)	累計 500 人 (R6年度)	累計 826 人 (R6年度)	A

○母子の健康増進

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
妊娠11週以下の妊娠届出率	92.20% (H30年度)	92.50% (R6年度)	91.78% (R6 年度)	B
乳児健康診査の受診率	89.60% (H30年度)	95.00% (R6年度)	92.8% (R6 年度)	B

○地域医療体制の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
周産期医療体制の堅持(都城医療センターの大学派遣医師確保)	必要医療スタッフの確保 100% (H30年度)	必要医療スタッフの確保 100% (R3 年度)	必要医療スタッフの確保 100% (R6年度)	A

○妊娠・出産に配慮した就労環境の整備

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
子育てサポート企業「くるみん認定企業」数	累計1社 (H30年度)	累計4社 (R6年度)	累計 8 社 (R6 年度)	A

■乳幼児期

○母子の健康管理・維持の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
MR ワクチン(2期)接種率	83.90% (H30年度)	95.00% (R6年度)	90.50% (R6 年度)	B
保育所・幼稚園等むし歯予防(フッ化物洗口)実施施設数	27.7%(累計 23 施設) (H30年度)	対象施設の 40% (R6年度)	対象施設の 30.40% (累計24 施設) (R6 年度)	C

○地域医療体制の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
夜間急病センターの診療科目・時間の維持	3科・12時間 100% (H30年度)	3科・12時間 100% (R6年度)	3科・12時間 100% (R6年度)	A

○食育の推進

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
離乳食教室の参加者数	183人 (H30年度)	200人 (R6年度)	85人 (R6 年度)	C

○多様な保育・教育サービスの充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
空き待ち児童数の減少(毎年12月末時点)	120人 (H30 年度 12 月末)	50人 (R3 年度 12 月末)	40 人 (R6 年度 12 月末)	A

○保育・教育を支える人材の確保と質の向上

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
子育て支援員研修受講者数	累計60人 (H31年度)	累計100人 (R3 年度)	累計 113 人 (R2 年度)	A
市の補助を受けて保育士資格を取得した人数	累計7人 (H31年度)	累計20人 (R3 年度)	累計 0 人 (R2 年度)	E

- ・成果指標となる事業は、H31～R3 で実施した「保育士確保事業」の中で取り組んだ事業のため、目標値が R3 年度で判断することになっている。
- ・子育て支援員研修については、R2で一定のニーズを充足したと判断したため、終了しました。
- ・市の補助で受けて保育士資格を取得した人は、H31、R2 と事業化したものの活用した人がいなかったため、事業活用がないと判断し R2 で終了しました。

○子育てに関する相談体制の充実と子どもの健全育成

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
子育て世代活動支援センターふれびかの全体延べ来館者数	121, 947人 (H30年度)	124, 500人 (R6年度)	88,059 人 (R6 年度)	C

○地域ぐるみで子育てを支える環境の整備

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
ファミリー・サポート・センター活動件数	5, 842件 (H30年度)	6,100 件 (R6 年度)	8,715 件 (R6 年度)	A
ファミリー・サポート・センター援助会員数	累計 282 件 (H30年度)	累計 300 人 (R6年度)	累計 364 人 (R6 年度)	A

○地域や家庭における男女共同参画社会づくりの推進

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
男女共同参画に関する講演会・講座の開催数	6回/年 (H30年度)	6回/年 (R6年度)	9 回/年 (R6 年度)	A

○仕事と子育ての両立支援

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
(再掲)子育てサポート企業「くるみん認定企業」数	累計1社 (H30 年度)	累計4社 (R3年度)	累計 8 社 (R6 年度)	A

○障がいのあるこどもに対する療育・保育・教育などの充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
こども発達センターきらきら利用者数	905 人 (H30 年度)	1,016 人 (R6年度)	1,149 人 (R6年度)	A

○ひとり親家庭の自立支援体制の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
子どもの生活・学習支援事業実施箇所数	累計 12 か所 (H30 年度)	累計 16 か所 (R6年度)	累計 29 か所 (R6 年度)	A

■小中学校期

○放課後の居場所づくり

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
放課後児童クラブ開設数	累計70か所 (R元年度)	累計76か所 (R6年度)	累計 75 か所 (R6 年度)	B
放課後子ども教室開設数	累計9教室 (H30年度)	累計10教室 (R6年度)	累計 9 教室 (R6 年度)	B

○豊かな人間性と生きる力を育む活動の推進

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
小中学校民族芸能伝承活動事業実施学校数の維持	累計20校 (H30年度)	累計20校 (R6年度)	累計 20 校 (R6 年度)	A

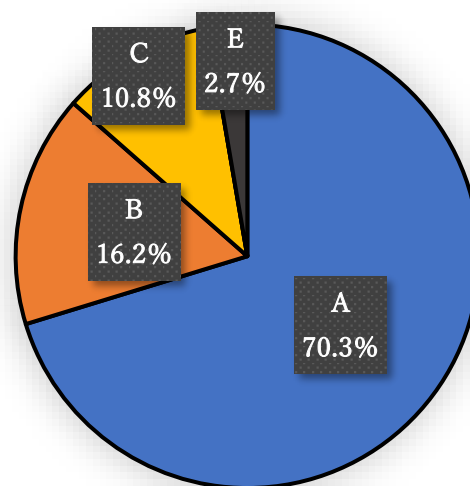
○子どもの健康管理・維持の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
小学校フッ化物洗口事業の実施校数	17校 (H30年度)	35校 (R6年度)	36 校 (R6 年度)	A

○教育環境の充実

成果指標	基準値	目標値	実績値	評価
学校運営協議会を通して、学校の支援がなされている学校数の割合	100% (H30年度)	100% (R6年度)	100% (R6年度)	A
図書館サポーターの配置学校数の割合	100% (H30年度)	100% (R6年度)	100% (R6年度)	A
1人当たりの年間図書館貸出冊数	小学校80冊 中学校12冊 (H30年度)	小学校83冊 中学校14冊 (R6年度)	小学 76 冊 中学 16 冊 (R6年度)	B
外国語指導助手(ALT)配置人員数	16人 (H30年度)	18人 (R6年度)	27人 (R6年度)	A
各中学校区へのコアティーチャー(学力向上の核となる教員)の配置の割合	68.80% (H30年度)	100% (R6年度)	100% (R6年度)	A
学校ICT化推進事業(教育用無線 LAN 整備学校数)	累計 小学校4校 中学校4校 (H30年度)	累計 小学校35校 中学校19校 (R6年度)	累計 小学校 35 校 中学校 19 校 (R6年度)	A
授業中に ICT を活用して指導できる教職員の割合	70% (H30年度)	80% (R6年度)	83.7% (R6年度)	A

評価内容	項目数	構成比
A:非常に効果的	26	70.3%
B:効果的	6	16.2%
C:概ね効果的	4	10.8%
D:効果的でない	0	0.0%
E:評価不可	1	2.7%
合計	37	100%



5 総括

幼児期の教育・保育の量について 2 号認定の実利用児童数に対する定員の確保はできているものの、1 号・3 号認定では定員の確保ができていません。保育料無料化等の影響により需要が増大しているため、実利用人数に即した利用定員の適正化について協力を依頼していく必要があります。

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策については、全体の目標達成として、非常に効果的となった割合が 66.7%、効果的となった割合が 20.0%、概ね効果的となった割合が 6.7%という結果になりました。

子ども・子育て支援事業の実施状況の指標については、全体の目標達成として、非常に効果的となった割合が 70.3%、効果的となった割合が 16.2%、概ね効果的となった割合が 10.8%という結果になりました。

今後も、子どもが健やかに育てる環境を作っていくために様々な施策を展開していきます。